

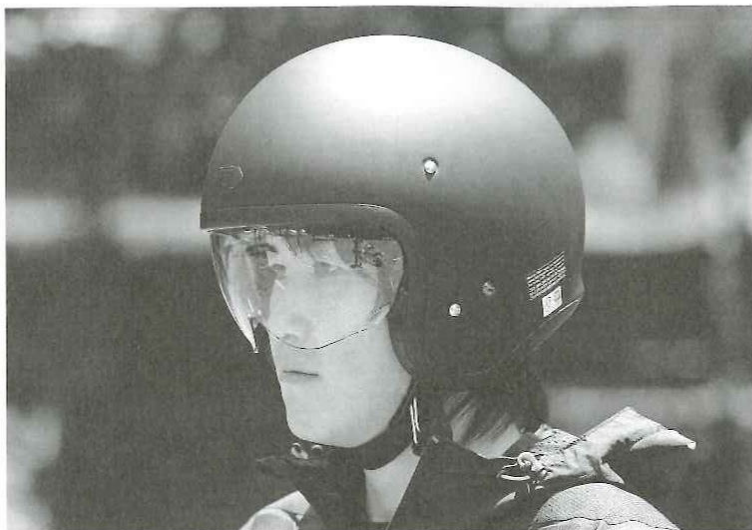
シールドが超便利、細部へのこだわりも見事

●REPORT:沼尾宏明 ●PHOTO:飛澤 慎

ビンテージな雰囲気のスモールジェットながら抜群の機能性を誇る、新感覚のJ・O。安全面はもちろん、帽体内に収納できるシールドや、個性的なデザインなど、各部に見どころが盛りだくさんだ。

【ショウエイ】 ジェイ・オー

●税込価格:3万4560円 ●色:白、黒艶消し黒、灰、艶消し茶
●サイズ:S、M、L、XL、XXL ●規格:JIS
●ショウエイ ☎03・5688・5180 <http://jp.shoei.com/>



◀最大の目玉は、専用設計のCJ-3シールド。外側に開閉するのではなく、内蔵タイプなのが新鮮だ。大きく湾曲した形状ながら、厚さや曲率を煮詰めることで、視界は自然かつクリア。さらに、メガネやサングラスが着用できる上に、巻き込み風を抑える形状と開閉角度を採用している。帽体は、フルフェイスにも使用される複合素材のAIMで、軽量コンパクトだ。なお製品名は、「ENJOY」から命名された。

ファッショニステ機能を見事に両立

まず質感が素晴らしい。内装の一部にレザー調やスエード風の素材を用い、帽体のリベットも金色、黒、艶消しを使い分ける。そして後頭部下端に設けられたダックテール形状の帽体デザインが何とも洒落ている。被り心地は、帽体が軽い上に、後頭部を含めてしっかりとホールドしてくれるので優秀。最大の特徴である内蔵式シールドは、違和感なくデザインされており、手で上げ下げするだけでスムーズに開閉できる。指を引っかけるとツマミが左右にあり、どちらの手でも操作できるのがいい。

ここで驚いたのが視界の良さ。ダブルシールドと呼ばれる湾曲形状のタイプは、風景が歪んでしまいがちだが、J.Oは実にクリアなのだ。また、メガネをかけた状態でも、シールドと干渉することはなかった。

走行中は、不快な風切り音もなく快適だ。シールドをONにしていれば、目の周辺に巻き込み風の影響はほぼ感じない。100km/hともなると、さすがに風の侵入は増えるが、シールドと顔のすき間が狭くなるよう調整すれば、かなり抑えられる。個人的には目を保護しなくても何とかなるレベルだが、やはりサングラスなどを併用した方がベターだ。

ベンチレーションがなく、夏はムレやすい

指摘するのは「無粋」と分かって切っているが、ベンチレーションがない点。ただし、あご紐カバーを含めて内装はフル脱着式なので、汗をかくても清潔さをキープできる。



↑頬パッドのすき間を覆うようにレザー調の素材を配置。高級感を演出し、風の巻き込みも抑えてくれる。またシールドは、顔やメガネに合わせ、停止位置を3段階に調整可能。両サイドのレバーがストッパーになっており、外側に引くだけで位置を変更できる。クリアが標準装備で、スモークやイエローをオプションで用意(5400円)。



◀額上部や横の内装にはスエード調の素材と艶消しボタンを採用。シールドへの反射や、視界に入る光を抑え、視界を確保する。細やかな気配りだ。



結論

“こんな人におすすめ”

快適なビンテージ系遊び心のある人にも

レトロ系のバイクに似合う、機能的なヘルメットが欲しい人にピッタリ。もちろん本物のビンテージメットに比べ、安全面と快適性は遙かに上だ。シンプルながら、実は凝っているデザインが好きな人にもオススメ。



↑SHOEIロゴを刻んだスナップボタン付きのゴーグルバンドを後頭部に装備。ボタンはブロンズ風、バンドもレザー調で、こだわりを感じさせる。



◀後頭部の下端をグラマラスなダックテール形状とし、個性を演出。一方、あご紐にフック式ではなく、ドリンクを採用するなど、安全面にも配慮する。